

野外で活動する時にはダニにご用心！

— ダニからうつる病気「つづが虫病」と「日本紅斑熱」 —

野山でレジャー、畑仕事、山仕事をしてしばらく後、こんな症状がでたら・・・

- ・頭痛、寒気、関節痛がして高熱が！
- ・体や手足に赤い発疹が出現！
- ・手足や股、頭などに刺されたあとが！



つづが虫病か日本紅斑熱 かもしれない！

潜伏期間	つづが虫病	10日から14日
	日本紅斑熱	2日から8日

すみやかに医療機関を受診しましょう！



つづが虫病の発疹
(おもに体幹に強く出現する)



日本紅斑熱の発疹
(おもに四肢に強く出現する)



つづが虫病の刺し口

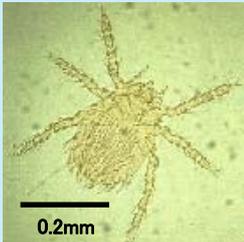


日本紅斑熱の刺し口
(つづが虫病の刺し口よりも小さい)

(写真:「日本紅斑熱と恙虫病の臨床」 馬原文彦博士 日本医事新報 3968(2000)より)

ダニに咬まれてうつります

- ・ダニが持っている細菌の仲間「リケッチア」が病原体です
- ・すべてのダニが病原体を持っているわけではありません



つづが虫病の媒介者は
ツツガムシの幼虫です
地面からのぼって来ます

フトゲツツガムシの幼虫
(とても小さい！)



日本紅斑熱の媒介者は
マダニ類です(幼虫, 若虫, 成虫)
地面や草の上で待っていてしがみつきます

人に食いついた
ヤマアラシマダニの若虫

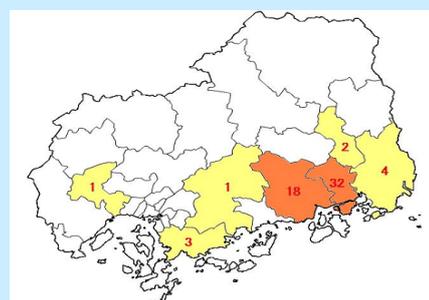
広島県内の発生状況

つづが虫病 春, 秋～初冬に発生



県内のつづが虫病患者の推定感染地と患者数
(1989年～2011年9月末)

日本紅斑熱 4月～10月に発生



県内の日本紅斑熱患者の推定感染地と患者数
(1999年～2011年9月末)

治療と予防

治療 テトラサイクリン系抗菌薬で治療できます。治療の開始が遅れると重症化するので、早期の受診が重要です

- 予防**
- ・長そで、長ズボンなど肌をなるべく出さない服装をする(すそは中に入れ込む)
 - ・足下や袖口などに防虫スプレーを噴霧する(防止効果は限定的です)
 - ・作業後は服をよくはたき、帰宅後は入浴して身体をよく洗う(服は放置せず洗濯する)